

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスflat いいもりぶらざ店					公表日	2025 年 3 月 31 日
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
適切な 環境と 支援の 提供	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されている。	7				各教室の清掃が出来ていないと思うときがある。特に長期休暇中は間に合わないのが、現状なので工夫が必要だと思う	
	2	清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。 また、こども達の活動に合わせた空間になっている。	5	2				
	3	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている。	7					
	4	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている。	4	3				
	5	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っている。	6	1				
	6	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されている。	7					
	7	個別支援計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	6	1				
	8	作成された個別支援計画は丁寧に支援内容の説明が行われており、個別支援計画に沿った支援が行われている。	6	1				
	9	日々の活動内容や取り組みなど、固定化しないよう多様性をもった様々な経験ができるように工夫されている。	5	2				
	10	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援が行われている。	7					
業務改善	11	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2				
	12	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		1			
	13	支援開始前には職員間で打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。支援終了後には職員間で打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	5	1	1		送りがあるので、その日というのは難しい	
ご家族 への 対応 について	14	ご家族との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされ、苦情や要望に対しては、体制を整備するとともに、迅速かつ適切に対応している。	7					
	15	日頃からこどもの姿や様子を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていと思う。	6	1				
	16	ご家族、学校、放デイなど、関係機関との連携が密に図られているように感じられる。	5	2				
	17	定期的に、面談やこどもへの関わり方、支援に関するアドバイスや助言など、ご家族への支援が行われている。	6	1			保護者対象の勉強会（対応方法、進路等）を開いてみてはどうかと思う。	
	18	家族参加イベントや茶話会の開催等により、保護者同士やきょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。	6	1			保護者対象の勉強会（対応方法、進路等）を開いてみてはどうかと思う。	
	19	定期的におたよりやホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されている。	5	1	1			
	20	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思う。	5	1	1			
非常 時 等 の 対 応	21	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされている。	7					
	22	業務継続計画（BCP）、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	4	2	1			
	23	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	6	1				
24	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	5	2					
満足 度	25	子どもの将来を見据えた支援を追求できていると感じられる。	4	3			親の会を開き、情報共有や意見交換を行ってみたいと思う	
	26	こどもは通所を楽しみにしている。	6	1				
	27	何かあれば気軽に相談できるスタッフが事業所にいる。	7					

放課後等デイサービスflat大東いいもりぷらざ店 保護者等からの事業所評価の集計結果

チェック項目		利用児童数：32名				回収数：24	公表日：2025年3月1日
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見・ご要望	ご意見・ご要望への対応
適切な 環境と 支援の 提供	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されている。	23		1		
	2	清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。 また、こども達の活動に合わせた空間になっている。	20		1	3	
	3	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている。	22			2	
	4	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っている。	21		1	2	
	5	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されている。	23	1			
	6	個別支援計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	23	1			
	7	作成された個別支援計画は丁寧に支援内容の説明が行われており、個別支援計画に沿った支援が行われている。	23			1	
	8	日々の活動内容や取り組みなど、固定化しないよう多様性をもった様々な経験ができるように工夫されている。	23		1		
ご家族 への 対応に ついて	9	ご家族との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされ、苦情や要望に対しては、体制を整備するとともに、迅速かつ適切に対応している。	22	1		1	
	10	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	2			
	11	日頃からこどもの姿や様子を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思う。	23		1		
	12	ご家族、学校、放デイなど、関係機関との連携が蜜に図れているように感じられる。	21	2	1		
	13	定期的に、面談やこどもへの関わり方、支援に関するアドバイスや助言など、ご家族への支援が行われている。	22	1	1		
	14	家族参加イベントや茶話会の開催等により、保護者同士やきょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。	21			3	
	15	定期的におたよりやホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されている。	20			4	
	16	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思う。	22		1	1	
非常 時 等 の 対 応	17	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、発生を想定した訓練が実施されている。	19	1		4	いつしているのかわかりません。 →訓練の日程が分かりやすいようにおたよりでお知らせする。
	18	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていると思う。	21			3	
	19	こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思う。	20			4	
	20	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思う。	22		1	1	
満足 度	21	子どもの将来を見据えた支援を追求できていると感じられる。	21	1	1	1	
	22	こどもは通所を楽しみにしている。	21		2	1	部分的にいやがるころはあるがそれが解消されているときは楽しんでいると思う。 →子どもたちが楽しく通えるよう子どもたちの抱える問題に向き合い、解消できるよう日々改善していく。
	23	こどもを安心して預けられている。	23	1			
	24	何かあれば気軽に相談できるスタッフが事業所にいる。	23		1		
	25	事業所の支援に満足している。	21	1	2		もっと他の親の交流の場を作ってほしい。 →交流の場を設ける機会を増やす。

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスflat 大東いもりぶらざ 店			
○保護者評価実施期間	2025年1月20日		～	2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	24
○従業員評価実施期間	2025年1月20日		～	2025年1月31日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されている。	月1回の支援会議において児童発達支援管理責任者が保護者との面談で得たニーズや課題をスタッフにしっかりと伝えることができている。またスタッフの気づきや意見も個別支援計画に反映されている。	月1回の支援会議だけではなく必要性を感じた際には、その都度会議や情報共有の場を設け、適切な支援を行っていく。
2	こどもを安心して預けられている。	連絡帳や送迎時の申し送りで事業所での過ごし方をしっかりと伝えるようにしている。 新しく始める取り組みについては書面などで丁寧な説明を心掛けている。	適宜のおたより発行で事業所内の様子を細やかに伝えていく。 保護者会などを開催することで、直接保護者と交流できる機会を増やしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的なおたよりやホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されている。	おたよりなどで伝えきれていない部分がある。	配布前に複数人のスタッフでの確認を徹底する。月1回の定期的なおたよりに加え、より詳しくお伝えしたい物事については別途おたよりを発行する。
2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、発生を想定した訓練が実施されている。	訓練自体は行っているが、保護者に対して発信が充分ではなかった。	送迎時の申し送りやおたよりを使い、訓練の内容や実施時の様子などの周知に努める。
3			